

三宅島における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Miyakejima Volcano

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

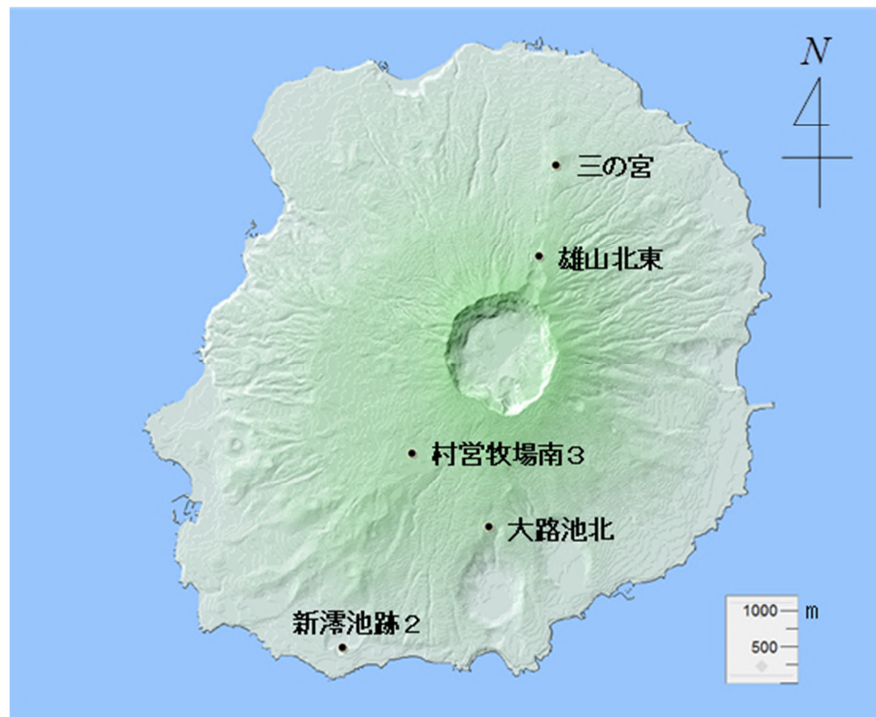
気象庁地震火山部火山課火山監視・情報センター

Volcanic Observation and Information Center, Volcanology Division, JMA

三宅島における 2014 年 1 月までの地磁気全磁力変化について報告する。

第 1 図に、三宅島における全磁力連続観測点の位置を示す。第 2 図に、雄山北東（参照点）の全磁力値を基準とした三宅島の各観測点の全磁力差を示す。第 2 図中の両矢印は黒潮の流軸が三宅島に接近している期間で、海流の影響で新漣池跡 2 や村宮牧場南 3 などの全磁力が増加したと見られる。三宅島から黒潮の流軸までの距離は海洋速報（海上保安庁）を参照している。

地磁気全磁力変化からは年周変化・黒潮等の影響が見られるが、期間中変化傾向に変わりは見られず、特段有意な変化は観測されなかった。

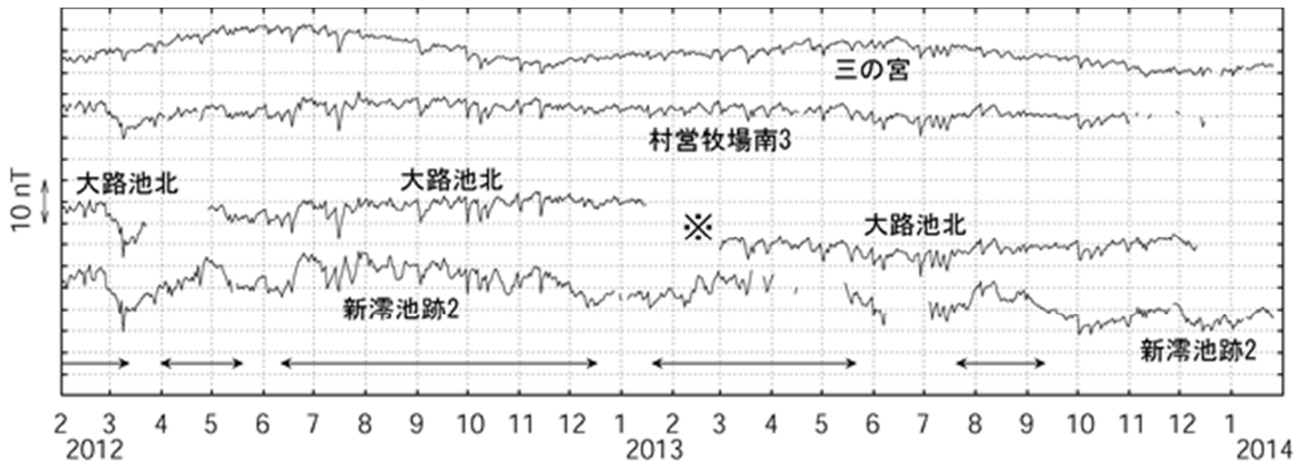


第 1 図 全磁力観測点配置図

等高線は10m間隔。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図10mメッシュ（火山標高）』を使用した。（承認番号 平23情使、第467号）

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation stations.

* 2014 年 3 月 28 日受付



第2図 三宅島の全磁力値と雄山北東(参照点)の全磁力値の日平均差(2012年2月~2014年1月)

Fig.2 Daily mean values of the geomagnetic total intensities with reference to the station Oyama-hokutoh from February 2012 to January 2014.